

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-8505  
 住 所 川崎市高津区下野毛二丁目12番1号  
 氏 名 クノール食品株式会社  
 代表取締役社長 山田 裕美  
 (代理人) 川崎事業所長 鈴木 英司 印  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	クノール食品株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	スープ類、その他食料品製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,795 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎事業所管理部工務課
		所在地	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号
		電話番号	044-811-3124
		FAX番号	044-844-7440
		メールアドレス	skk_koumu@ajinomoto.com
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度平成26年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

#### (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

##### ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,967 t-CO <sub>2</sub> (調) 6,956	(実) 6,803 t-CO <sub>2</sub> (調) 6,795	(実) 7,178 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,170	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 6,757 t-CO <sub>2</sub> (調)
削減率		(実) 2.4 % (調) 2.3	(実) -3.0 % (調) -3.1	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

##### イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO <sub>2</sub> /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.4354	0.4252	0.3988		0.4223
削減率		2.3 %	8.4 %	%	3.0 %

##### ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガスの排出減少に寄与する、大規模設備投資として、ガスコージェネレーションシステムの導入があり、自家発電による購入電力の削減を図った。 また、昨年同様に空調機の更新17台、温度管理・不用時の停止及び、照明の消灯を行い、排出原単位は基準年度に対して2.3%削減することができた。
第2年度	温室効果ガスの排出減少に寄与する、設備投資として、コンプレッサーの集約化を行い、購入電力量の削減を図った。また、昨年同様に空調機の更新4台、温度管理・不用時の停止及び、照明の消灯、コージェネレーションシステムの効率的な運転、照明のLED化を行い、排出原単位は基準年度に対して8.4%削減することができた。
第3年度	

#### (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制</li> <li>○主要設備の保安全管理</li> <li>○空調機の管理</li> <li>○照明設備の管理運用</li> <li>○ヒートポンプの導入</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制</li> <li>他府県の事業所と管理標準書の整合性を図った。</li> <li>○主要設備の保安全管理</li> <li>不使用時の停止および、運転時間による整備を実施した。</li> <li>○空調機の管理・照明設備の管理運用</li> <li>無人化等必要がないときは運転停止、消灯を行った。</li> <li>○ヒートポンプの導入</li> <li>空調機更新時はヒートポンプ式を採用した。</li> <li>○CGSの導入</li> <li>CGSを導入し、エネルギー効率的な使用を図った。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制</li> <li>他府県の事業所と管理標準書の整合性を図った。</li> <li>○主要設備の保安全管理</li> <li>不使用時の停止および、運転時間による整備を実施した。</li> <li>○空調機の管理・照明設備の管理運用</li> <li>無人化等必要がないときは運転停止、消灯を行った。また、LED化も推進した。空調機は更新時にヒートポンプ式を採用した。</li> <li>○コンプレッサーの集約化</li> <li>4.5KW2台、3.0KW1台、5.5KW1台、3.7KW2台を1.00KW1台、7.5KW2台に集約した。</li> <li>○CGSの運用</li> <li>CGSの運用を効率的にして、エネルギーの効率的な使用を図った。</li> </ul>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,728	t-CO <sub>2</sub>
(調)	7,653	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	川崎高津区下野毛二丁目12番1号	0999	その他食品製造業	7,728 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--